担当省庁名：外務省

拠出金名：世界保健機関拠出金

国際機関等名	世界保健機関 (英文名称・略称) World Health Organization (WHO)
種　　別	国連(事務局)　国連(基金・計画)　(国連専門機関)　その他
所轄官庁担当局課名	

最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率

単　位	金　額 邦　貨(千　円)	外貨1(千ドル)	外貨2	レート	拠出率(%)	ODA率(%)
平成17年度	0	0			(2005年)	0
平成16年度	660,000	6,000		1$=　110 円	(2004年)N/A	100
平成15年度	0	0			(2003年)	0
＊スマトラ沖大地震及びインド洋津波に関するWHOを経由した緊急人道支援(600万ドル(予備費))						

拠出上位5ヶ国

	国　　名	金額(千ドル)	率(%)
1位	イギリス	153,858	23.2
2位	アメリカ	127,146	19.2
3位	カナダ	86,457	13.1
4位	ノルウェー	60,504	9.1
5位	スウェーデン	40,066	5.1

上記の率及び順位は2005年のもの

国際機関等の財政(2004～2005年度決算)

当該年度の収入	35億2400万ドル
当該年度の支出	33億5700万ドル
次年度への繰越	1億6700万ドル

会計検査機関名

外部監査官(External Auditors)
Comptroller and Auditor General of India
(現在の構成員の出身国：インド)

当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)

WHOは「全ての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」を憲章上の目標として掲げる国連専門機関として、ポリオや結核対策等の感染症対策、必須医薬品や食品保健などの基準づくり等、途上国への技術支援を含む保健衛生分野の様々な事業を展開している。我が国はWHOを主要な専門機関の一つと位置づけ、主要加盟国としてWHOの活動を支持している。特に、我が国が所属するWHO西太平洋地域については、日本人の尾身地域事務局長率いる西太平洋地域事務局の活動を高く評価し、重点的な支援を行っているところであり、WHOとしても我が国を任意拠出金を含む財政支援の主要パートナーとして重視している。

合理化、機能強化のための改革が行われているか。
行われている場合はその現状と我が国としての評価

2003年7月のリー前事務局長の就任以来、WHOの組織強化のため各国事務所への分権化を行う一方、ITの効果的な利用により業務の優先順位付けと経費削減を徹底させ、効率化に取り組んでいる。
事業予算については、1996年以来連続8年間名目ゼロ成長を維持してきたが、その間任意拠出金は大幅に伸び、そのアンバランスを改善するため、2006-2007年度予算において4%の増額となった。我が国としては、今後も事業予算効率化の余地があり、名目ゼロ成長の維持を主張していく。今後10年間のGPW(General Programme Work)ではWHOの役割を幅広く捉えており、そのこと自体に異論はないが、これがWHOの財政規律に影響しないことを望む。増大する健康課題に対しては、WHOの肥大化よりも、WHO以外の諸団体との連携強化によって対応することが検討されるべきである。また、任意拠出金について、使途指定(ear mark)をすることが、WHOの機能発揮を妨げるという意見もあるが、我が国としては、任意拠出金に当方の意図を反映させたいと考えており、任意拠出金の使途に関するドナー側とWHO事務局側との対話を継続していことが重要と考える。

邦人職員数 うち幹部以上	41人 うち　3人	当該機関の職員数及び邦人職員が職員全体にしめる率	1,704人 2.4%

邦人職員が占めている幹部ポスト

ポストの名称	職　員　氏　名	備　　考
西太平洋地域事務局長	尾身　茂	
本部たばこ部長	望月　友美子	
本部マラリア対策部長	古知　新	

当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画

WHOの重要ポストへの邦人職員の就任につき、我が国として積極的に支援を行っている。